

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 守恒 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

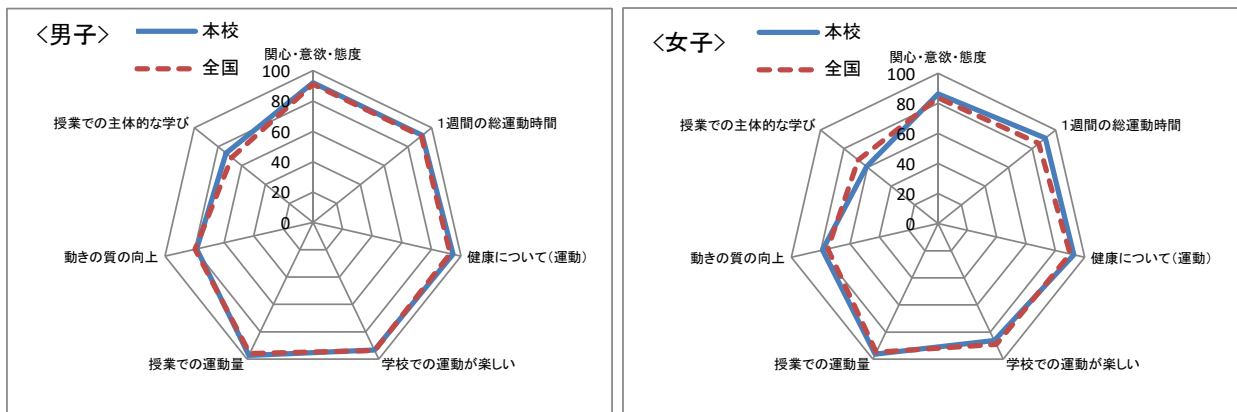
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- ほとんどの項目で、全国平均と比べほぼ同程度である。
- 女子の「体育の授業は楽しい」「授業での主体的な学び」という項目は、全国平均に比べて低い。男子は、ほぼ同程度である。しかし、「体育の授業ではたくさん運動する」という項目では、男女ともに大きく全国平均を上回っており、また、女子の「1週間の総運動時間」も全国平均を大きく上回っていることから、日頃より運動には慣れ親しんでいると考える。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体育科の授業では、子どもの更なる運動技術向上のため、ICT等を活用し、自分の動きを見直し、より適切で効果的な運動の形(フォーム)に、近づけられるような指導を行っていく。
- 『北九州市体育好きちゃっぴプログラム』を、今後も活用し授業を行っていく。
- 「体育授業のポイントシート」を活用し、体育科の授業の行い方について教師が確認する時間を設け、今後も体育科の指導力向上を図っていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 『キッズダンス週間』を設定する。中休みに全校児童でキッズダンスの音楽に合わせて踊り、体を動かす楽しさを味わわせる。
- 『毎週○曜日(週1)はクラス全員外遊びデー』を設定する。クラス全員で一週間に1回は外で遊び、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わわせる。(体調不良の児童は除く)